

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)								具体的な取組			事業名	R4年度 予算額 (単位: 円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検案用			
		めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課										
					初期値	R4	達成率				備考									
基本目標 1)若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる																				
1	若い世代がライフデザインを描くことを支援する	1	キャリア教育にかかるアンケート項目「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」における肯定的な回答割合(%)	82.5	%	78.2%(R1)	※第6次総計と同一指標 定義: 全国学力・学習状況調査のアンケート項目「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的割合の平均 出所: 文部科学省「全国学力・学習状況調査」	78.2	69.8	84.6%	学校教育課	1 乳幼児とのふれあう機会の提供	・中学生に対して、子どもを生み育てることの意義を理解し、男女共同して家庭を築く大切さを感じるができるように、認定こども園、幼稚園及び保育園を訪問するなど、幼い子どもとふれあう機会を提供します。	継続	学校教育課	学校教育推進事業	-	・コロナ禍のため、多くの学校が認定こども園等との交流を中止。親中学校のみが近隣の認定こども園と交流を実施することができた。 ・家庭分野を含めた学校教育におけるキャリア学習の一環として、学校の近隣にある認定こども園等と交流を行う。 ・認定こども園等への職場体験学習の実施。	教育部	1
		2	守口市で学ぶ子どもたちに対するキャリア教育の実施									2 継続	学校教育課	学校教育推進事業	-	・コロナ禍のため、すべての中学校等において職場体験学習は実施できなかったため、企業や地域の方を招聘し、職業講話を実施した。 ・企業や地域人材等の協力を得ることができるよう、各校のニーズ把握に努めつつ、そのニーズを市内外に発信し、人材確保に努める。 ・職業講話を継続しつつ、職場体験学習を実施していく。	教育部	2		
	2	ライフデザインセミナーにかかるアンケート項目における肯定的な回答割合(%)	50	%	未実施	新たな取組であるため、まずは参加者のうち50%は、セミナーに対して肯定的に捉えていただくことを目標に設定。	未実施	86.0	172.0%		人権室	3 ライフデザインセミナーの開催と相談等による情報提供の充実	・若い世代のうち社会人が、自分の価値観に基づいて人生の生き方の構想を描くことができるよう結婚や子育て、住まい及び仕事等、将来の人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけをつくることを目的に、産官学連携によるセミナー等を各関係機関との連携を図りつつ開催するとともに、全庁的取組として様々な制度等の紹介や相談を適切に行うことができる庁内各専門窓口につなぐことができるよう総括的な窓口を設定し、ライフデザインの観点から情報提供体制の充実を図ります。	新規	人権室	男女共同参画推進事業	100,000	・制度等の紹介や相談について、関係課や関係機関への案内。 ・人生の生き方を含む女性のための悩み相談を開設している。 ・ライフデザインをテーマとしてセミナーを年間5回開催し、延べ142名の参加者を迎えた。 ・制度等の紹介や相談について、関係課や関係機関への案内する。 ・人生の生き方を含む女性のための悩み相談を開設している。 ・若い世代を対象にライフデザインに係る講座等を開催する。	市民生活部	3
3	若い世代の結婚・妊娠・出産を支援する	1	妊娠から出産までに子育て世代包括支援センターの専門職による相談・支援等を受けた人の割合(%)	100	%	97.9%(R1)	※第6次総計と同一指標 定義: 妊婦届出時または出産までに保健師等の専門職による面談(電話も含む)を受けた人の割合。 出所: 子育て世代包括支援センター調べ	97.9	98.6	98.6%	子育て世代包括支援センター	1 若い世代が出会う機会創出の支援	・結婚したいと思う若い世代(社会人)が、よい人と巡り合うことができるように、趣味を同じくする人の交流機会等、若い世代が出会い、交流する機会を増やすため、関係機関が実施する婚活イベント等を支援します。 ・若い世代に対して、公民連携による出会いの場の創出を充実します。	継続	子育て支援政策課	-	-	・公民連携イベントや婚活イベントなど、市が実施できるイベント等の情報収集に努めた。 ・大阪府が実施する公民連携イベントなどへの協力を通じて若い世代の出会いの場の創出に努める。	こども部	4
		2	不妊治療に関わる医療に対する費用の経済的支援									2 継続	健康推進課	不妊検査・治療費助成金事業	4,012,971	・制度周知と利用回数拡充が奏功し、初期目標値を上回り、さらに昨年度比でも申請件数増となった。 ・ホームページ上にある「Q&A」(頻出する質問への解説を目的としている)を適宜更新し、様式・記載例のブラッシュアップするなどして、利用しやすいの向上に努めていきたい。	健康福祉部	5		
4	若い世代の結婚・妊娠・出産を支援する	2	不妊検査・治療費用助成件数	80	件	80件(R1)	定義: 守口市不妊検査・治療費助成金交付要綱に基づき、当該助成金を申請した夫婦の件数 出所: 健康推進課での交付実績	80	104	130.0%	健康推進課	3 妊娠・出産についての情報提供・相談	・若い世代の妊娠・出産についての悩みや不安を軽減するために、情報提供や相談を実施します。	継続	健康推進課	母子保健事業	-	転入妊婦を対象とする母子健康手帳別冊(妊婦健診・乳児一般受診券)の交換対応の際、保健師等により母子・乳児健診等の受診動員や、それに付随する相談対応を行った。 ・窓口において、妊婦・乳児向けのイベントやちらしを目につく所に配架し、妊婦等へ有益な情報を届けられる環境を醸成する。	健康福祉部	6
												子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター運営事業	-	助産師・保健師等の専門職による妊婦届出時の面接で、初期の段階から不安や疑問などの解決を図るきっかけづくりを行った。 面談教室で、ニーズに応じた情報提供ができるように努めた。 ・妊婦期からの伴走的な支援として、妊婦届出時の面接に加え、妊娠8か月時にアンケートと面談を両親教室で、ニーズに応じた情報提供ができるように努めた。	こども部	7			
											4 新規	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター運営事業 児童虐待防止対策事業	-	母子保健事業、児童虐待防止対策事業、子育て支援事業を一元化し、保健師等の専門職による訪問などを通じて、必要な行政サービスや関係機関へとつなぎ、妊婦期から子育て期までの総合的な相談・支援を実施している。	こども部	8			

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)										具体的な取組			事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用		
		めざす値(R7)		初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課		区分	担当課								
						初期値	R4	達成率	備考												
3	若い世代の子育てを支援する	1	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	80 %	78.7% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義: 守口市乳幼児健診(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診)での、健やか親子21の調査において、「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある」と答えた割合 出所: 一歳やか親子21:厚生労働省母子保健課調査～(年齢3区分を再計算)(⇒健康推進課調べ)	78.7	80.8	101.0%	子育て世代包括支援センター	1	産後ケアの取組	・出産後において、不安や体調不良のある母子に対して、母親への心身のケアや育児サポートなどが受けられる環境を引き続き提供します。	継続	子育て世代包括支援センター	産後ケア事業	-	令和4年度の利用実績は宿泊型:26人、89泊。訪問型:11人、22回。妊娠届出時の面接等で、産後のサポートが得られない可能性のある妊婦に、早い段階で情報提供を行った。	令和5年4月より宿泊型の施設を2施設から4施設に拡充し、産前からの相談支援を通して、必要な支援へとつなげていく。	こども部	9
											2	子育てをしている親子のつながりづくりを支援	・子育て世代包括支援センター、児童センター、民間認定こども園6園の市内8か所において地域子育て支援拠点施設を設置しています。各拠点施設によるイベントや講座等、特色ある取組により引き続き身近な地域において親同士、子ども同士がふれあい育ちあう環境を提供します。	継続	子育て世代包括支援センター	地域子育て支援拠点等事業	-	子育て世代包括支援センター、児童センターにおいては週5日、民間認定こども園6園においては週5日、地域子育て支援拠点施設を開設し、子育て親子の交流の場を提供するとともに、特色あるイベントや講座等を実施した。(ただし、民間認定こども園においては新型コロナウイルス感染症拡大防止による休止・中止あり) また、各拠点施設の交流会を実施し、情報交換を行った。	引き続き、各拠点施設の広報等によるさらなる周知に努めるとともに、各拠点施設の交流会を開催し、情報交換等を行い連携しながら、事業の充実につなげていく。	こども部	10
		2	地域子育て支援拠点事業の延べ利用者数	32,019 件	29,315件 (R1)	定義: 子ども・子育て支援交付金の実績報告で出てくる民間園の利用者数と児童センター及びもりランドでの利用者数を足した数 出所: 子育て世代包括支援センター調べ	29,315	27,423	85.6%	子育て世代包括支援センター	3	子ども医療費の助成	・子どもの健やかな育ちを実現するために、中学校卒業の年度まで通院及び入院に係る医療費の一部を助成していますが、今後更なる子育て世代への支援に向け、年齢制限の拡充を考えていきます。	新規	子育て支援政策課	子ども医療費助成事業	538,044,000	・子どもの健やかな育ちを実現するために、通院及び入院に係る医療費の一部を助成します。 子育て支援の更なる充実を図るため、令和4年1月からこども医療費助成の対象年齢を0歳から18歳に達する日以後における最初の3月31日(高校卒業)まで拡充。 ・子ども医療証の再交付申請をオンラインにて実施	引き続き、こども医療費助成を実施し、子育て支援の更なる充実を図る。また、オンライン申請の拡充に取り組み、市民サービスの向上を図る。	こども部	11
											4	養育支援訪問事業	・養育者の養育力不足や産後うつ状態、精神疾患等により、児童の食事や衣服の清潔、生活環境が不適切な状態にある家庭に対し、従来の相談員の訪問に加え、ヘルパーを派遣する「育児家事援助型」の支援を行います。	新規	子育て世代包括支援センター	養育支援訪問事業	-	養育環境が不適切な状態にある家庭へのアウトリーチ手法による支援として、相談型と育児家事援助型を実施している。令和4年度は、相談型:家庭訪問回数63回、育児家事援助型:家庭訪問回数503回実施した。	支援対象児童の家庭や特定妊婦だけでなく、特に支援が必要と認めた家庭については、養育が適切に行われるよう相談型、育児家事援助型の支援を実施し、家庭の状況を把握しながら、育児不安や養育負担の軽減を図り、早期の課題解決に向けて取り組む。	こども部	12
											5	守口市に転入したくなる、もしくは転入後の良いイメージができる魅力的な情報発信	・守口市に転入したくなるようにSNSやホームページを通じて魅力ある市の情報を発信し、イメージ向上に努めるとともに、広報誌を活用し、市の施策等をしっかりと伝えることにより定住を図ります。	新規	魅力創造発信課	ホームページ運営事業	28,105,000	これまでよりも見やすいホームページにするため、令和5年3月1日からの新ホームページ開設に伴い、市ホームページのリニューアルを行った。また、魅力ある市の情報をさらに発信するため、新たに魅力発信サイトを開設した。	引き続き、ホームページを充実させることにより、市の情報発信に努める。	企画財政部	13

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)							具体的な取組				事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
					初期値	R4	達成率		備考	区分	担当課																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
基本目標 2)若い世代に守口の「まちの魅力」を広く伝える																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
7	1	守口の「まちの魅力」を 広く情報発信する	1	アンケートにおいて市民が 思う守口の魅力「まちのイ メージ」	13.1	%	3.6% (R1)	※第6次総計と同一指標 市民アンケートにおいて、本市 の魅力として、「まちのイメージ」 と答える割合 出所:企画課調べ(総合基本計 画策定に関するアンケート調 査)	3.6	-	-	アンケート実施なし	企画課	1	守口市の魅力を広く発 信するシティブロモー ション活動の展開	・守口市のイメージアップのために、若い世代の住民や事業 者の意見を取り入れて守口市の魅力を発信していくための 方針を策定するとともに、行政・住民・事業者等が連携・協 力して様々なことに取り組むことができる体制をつくります。 ・守口市の住み良さ等の魅力が広く知られるように、データ や動画、ホームページ、SNS、ブックレット等を活用してわか りやすく情報を発信します。 ・守口市に住みたくなるような魅力を発信するため、子育て 家庭をはじめ、市民の皆さんの生の声を発信します。	継続	魅力創造発信 課	シティブロモーション推 進事業	-	官民連携の観点から、(株)FC大阪と協働で、シ ティブロモーション動画を製作し、Youtubeやホー ムページなどで市の魅力を発信した。	引き続き、市の魅力発信を行う。	企画財政部	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
														2	守口市の地域毎の 様々な魅力情報を把 握・発信する取組	・地域で活動している様々な団体等とつながりをもち、地域 毎の魅力情報を把握し、その情報を発信します。	継続	魅力創造発信 課	シティブロモーション推 進事業	-	広報誌(特集やフォトニュース)などで、地域で活 躍している市民などを取り上げ掲載を行った。	市民自らが市の魅力を発見し、発信できるような きっかけや仕組みを検討する。	企画財政部	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)										具体的な取組				事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)
		めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課								
					初期値	R4	達成率	備考											
若い世代が守口をふらっと訪れる機会を提供する	1	市民団体と協働した行政の事業数	75 件	50件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:市民団体(市民、市民による団体、事業所の集まりなどの団体)と協働した行政の事業数(市民団体の事業に、補助金を出しているだけ、後援名義を出しているだけの事業は除く。)出所:コミュニティ推進課・企画課調べ	50	33	44.0%	コミュニティ推進課 企画課	1	商店街等による賑わいづくりの取組への支援	・商店街等における賑わいづくりを支援するため、引き続き商店街等が実施するイベントや商業まつり、インターネット等を活用した情報発信、産学連携等、商店街等の活性化に向けた取組に係る経費の一部を補助するとともに再整備に向けた取組を支援します。	継続	地域振興課	商工振興事業	3,500,000	・商業振興事業支援補助金にて守口市商業連盟や商店街が実施するイベントを支援した。 ・土居地区商店街内に新たに設置した掲示板での市の情報発信を行った。 ・商店会等防犯対応設備補助金にて防犯対応設備を設置する商店街に対して設置費用の補助を行った。	・土居地区商店街内において、市所有のスペースがあるため、効果的な活用に向けて商店街のニーズも踏まて整備を進める。	
										2	魅力的なイベントの開催	・守口市の様々な地域資源を活用し、市民や関係団体との協働により、若い世代が魅力的に感じるイベントを開催します。また、イベントを通じて「守口市を知る人」を増やすとともに、守口市の魅力にふれることにより「また来たい」、「住んでみたい」と思ってもらえるように、来訪者と守口市との関係づくりを促進します。	市民まつり開催補助事業	3,300,000	・第36回を迎えた守口市市民まつりの開催を補助金の交付により、新たなイベントを実施し、賑わいの創出を支援した。	・守口市市民まつりの魅力あるイベントに対する補助による開催支援を継続する。			
	2	新たな魅力創出を目指したイベントの件数	10 件	5件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:市の魅力発信・シティプロモーションに向けた新たな企画によるイベントの開催出所:魅力創造発信課調べ	5	4	40.0%	・ふるさと納税事業者説明会 ・市内周遊型謎解きイベント ・もりぐちTV ・庁内コンサート 魅力創造発信課	3	魅力拠点と来訪者の滞在環境の整備	・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」等の守口市内の魅力拠点を適切に維持管理しながら、有効活用を検討します。また、新たな魅力拠点の創出についても研究を深めます。 ・東海道五十七次の宿場町「守口宿」であることを示す文様塼を貴重な歴史的資源として保存に努め、市内内外の人たちがまちへの愛着を高める拠点として積極的に活用します。 ・守口市への来訪者に対する情報提供(案内地図、案内表示)を充実するとともに、情報通信環境(Wi-Fi 等)の整備を検討します。 ・国家戦略特区における民泊についての規制緩和の動向を把握し、守口市内で運営される民泊に関する情報を発信します。	継続	生涯学習・スポーツ振興課	①旧中西家住宅管理運営事業 ②文禄塼・旧徳永家住宅保全・活用事業	①666,000 ②3,553,000	・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」において、市の魅力発信につながる事業の実施。 ・高礼塼の設置。 ・旧徳永家住宅の今後の保全・活用事業に向け、同住宅内に収蔵されている資料の歴史的・文化的価値の調査を円滑に進めるための事前調査の実施 ・旧徳永家住宅の保存・活用にに向けた改修工事を行うための改修工事実施設計等業務委託の実施(R5までの債務負担行為)	・引き続き、市の魅力発信につながる事業を実施していく。 旧徳永家住宅 ・旧徳永家住宅改修工事実施設計等業務委託の実施(R5までの債務負担行為) ・活用事業者の選定(R5:都市整備部) ・改修工事(R6) ・一部施設の供用開始(R6) ・全施設の供用開始(R7)	
												魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	市内の魅力拠点をSNS等を通して発信した。	引き続き魅力ある発信を実施する。			
										4	姉妹・友好都市交流事業等により、守口市の魅力を発信し、関係人口を増やす	・子ども交流会等での姉妹・友好都市交流を通して、参加者やその関係者に向けても市の魅力を発信するとともに、もりぐちグッズや観光ガイド等の配布を行い、今まで以上に守口市の認知度を高めることにより、関係人口の増加を図ります。	新規	地域振興課	友好都市交流事業	1,744,000	・令和4年度の新規事業として、かつらぎ町子ども交流会の本市での受入事業を実施するため、事前準備を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。 ・東洋町子ども交流会 中止 ・高島市市民交流会 令和4年10月7日(金)実施 ・かつらぎ町市民交流会 令和5年3月5日(日)実施	・友好都市との交流事業等において、本市の魅力を発信することで興味を持ってもらうきっかけを作り、関係人口の増加を図る。	

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)										具体的な取組				事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用			
		めざす値(R7)		初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課		区分	担当課										
						初期値	R4	達成率	備考														
3	若い世代が「住む」魅力 を感じる環境を提供する	1	アンケートにおいて市民が 思う守口の魅力「まちの賑わ い」	15.6 %		※第6次総計と同一指標 市民アンケートにおいて、本市 の魅力として、「まちの賑わい」 と答える割合 出所:企画課(総合基本計画策 定に関するアンケート調査)	2.8	-	-	アンケート実施なし	企画課	1	若い世代が魅力を感じ る住宅との出会いを支 援	・若い世代が守口で理想の住まいが見つかるよう、市が設 計事務所や不動産事業者等と情報連携及び意見交換を実 施し、情報発信を行うことにより魅力的に感じる住宅との出 会いを支援します。	継続	住宅まちづくり 課	-	-	・大阪府住宅まちづくり推進協議会への参加 ・大阪府住まいの活性化フォーラムへの参加 ・適切な開発指導	・協議会等への参加を通じた先進事例等の調査 ・適正な開発指導	都市整備部 企画財政部	30	
												2	公園やまちを美しく保 つための取組	・まちの美しさはまちのイメージに影響することから、公園利 用者や地域住民等との連携・協力により、公園やまちを美し く保つための活動の充実や、ペットの飼い主のマナーの向 上に取り組めます。 ・幅広い世代が魅力的に感じ、利用したくなる憩いとスポー ズの機能と防災機能をしっかりと備えた親しみのある公園を 計画的に整備し、運営します。	継続	道路公園課	公園便所清掃補助金	468,000	・町会等による公園便所清掃活動。 ・掲示物によるペットの飼い主のマナー向上。	・今後も、公園やまちを美しく保つための活動の充 実や、ペットのマナーの向上に取り組む。 ・町会による公園清掃活動の拡充。 ・ペット等飼い主のマナー向上の啓発。 ・市民ニーズに応じた魅力的な特色ある公園整 備・再整備を進めていく。	都市整備部 企画財政部	31	
												3	守口市駅前周辺の魅 力づくり	・守口市域におけるにぎわいや交流を創出するため、民間活 力の活用により守口市旧本庁舎等の跡地に魅力ある 空間を創出するとともに、ホール機能をはじめとする施設の 誘導を念頭に、その最適な配置の考え方や、公民連携の導 入を含め、将来の財政負担に十分配慮した効果的、効率的 な事業化手法等について検討していきます。	継続	企画課	にぎわい交流施設整備 事業	29,600,000	将来的な市の財政負担も考慮しつつ、新たなホー ル、体育館に備えるべき機能や規模、併設する施 設や運営手法等を検討し、具体的な施設整備に 向けた整備基本計画を策定した。 また、民間活力の活用に向け、PPP/PFI導入可 能性調査を行い、体育館の整備に当たっては、設 計、建設、維持管理・運営を一括で発注するDBO 方式を採用することとした。	・新体育館の整備に向け、整備事業者の選定と併 行し、旧寺方小学校の解体を行う。 ・新ホールの整備は、令和9年度からの着手予定 であるが、着手までの間、京阪守口市駅南側エリ ア再整備の検討を行う。	企画財政部	32	
		2	エリアマネジメントの推進に 向けた公民連携の取組 (ワークショップ・イベント等)	5 回		0回 (R1)	定義:守口市駅北側エリア内で 公民が連携して実施する社会 実験(ワークショップ・イベント等) 出所:都市・交通計画課で設定	0	2	20.0%	守口さんぽvol.1 令和3年11月18日～ 23日 守口さんぽvol.2 令和4年10月15日～ 30日	都市・交通計画 課	4	子育て親子など地域 住民が安心して暮らせ る「安全なまち守口」を つくるための防犯	・子育て親子等、誰もが安心して暮らせるように、地域と行 政、警察等が連携し、地域の見守り等の人の手による防犯 の取組を更に進めます。また、警察と行政が連携し、改善し た守口の治安や、そのための取組を市内外に広報すること で、「安全なまち守口」のイメージを定着させます。	継続	危機管理室	防犯対策推進事業	47,634,000	・広報4月号の防犯特集記事において防犯カメラ 設置により刑法犯認知件数が大幅減少しているこ となどを掲載し、市では「安全・安心のまちづくり」 を行っていることを周知。	・今後も警察と連携しながら、市広報紙やSNSを活 用し、「安全なまち守口」のイメージを定着させる。	危機管理室	33
												5	「子ども110番の家」運 動の推進	・子どもたちが身の危険を感じた時に助けを求めることがで きるように、守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携 し、通学路の沿道の家庭・団体等の協力を得て、子ども の緊急避難場所としての役割を担う「子ども110番の家」運動を 推進します。	継続	コミュニティ推進 課	一般事務費	45,000	・守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携し、 「子ども110番の家」運動への協力家庭、団体の増 加に努めた。	・協力件数の増を目指し、引き続き守口市青少 年育成指導員連絡協議会と連携しながら周知に努 める。	市民生活部	34	
												6	通学路の安全確保	・児童・生徒が安心して通学できるようグリーンベルトの整備 に努めるとともに、横断防止柵等の交通安全施設の整備を 図り、安全確保に取り組みます。	新規	道路公園課	道路補修	100,000,000	グリーンベルト約2,250mを整備	教育委員会等からの要望を基に、現地の状況に 応じた整備を進める。	市民生活部 都市整備部	35	
	3	青少年健全育成協力数「こ ども110番の家」運動協力家 庭数	1,550 件		1,515件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:「子ども110番の家」延べ 登録家庭数 出所:コミュニティ推進課 (青少年育成指導員連絡協議 会調べ)	1,515	1,440	92.9%		コミュニティ推進 課	7	若い世代の参画による エリアマネジメントの推 進	・まちづくりの方向性を若い世代とも共有しながら、中心市 街地等におけるエリアの価値を向上させ、まちのにぎわい や美しい都市イメージの創出につなげられるよう、守口市旧 本庁舎等の跡地の民間による開発・整備をはじめ、エリアマ ネジメント組織と連携したまちづくりに資する取組(プランリ ング、魅力あるコンテンツの誘導、既存施設・空き家等のリ ノベーション・イベント等)に、特に若い世代も積極的に関わ ることができるように工夫しながら取り組みます。	新規	都市・交通計画 課	街づくり推進事業	23,441,000円	「(仮称)守口市駅北側エリアリノベーション戦略 策定支援業務委託」において、戦略の検討にあたり 「将来のエリアのありたい姿」の仮説等を具現化 し、その検証結果を戦略に反映するための社会実 験を実施した。 桜町団地周辺エリアでは、前面道路の一部と民間 の駐車場を占用し、子育て世代等が憩う広場機 能、事業にチャレンジできる環境づくりのための マーケットニーズや集客効果を検証した。	当該エリアの将来的なメディア計画を見据え、若い 世代にも親しみやすいSNSを利用した積極的な 広報周知を行う。	市民生活部 都市整備部	36	
											8	若い世代の住宅購入 を後押しし、定住人口 を増やすための取組	・若い世代の住まいの確保を支援し、ますますの定住促進 と人口増加を図るため、市内で住宅を新築または購入され た世帯(条件あり)の経済的負担の軽減等について検討を 深めます。	新規	住宅まちづくり 課	-	-	・大阪府住宅まちづくり推進協議会への参加 ・大阪府住まいの活性化フォーラムへの参加	・協議会等への参加を通じた先進事例等の調査	市民生活部 都市整備部	37		

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)								具体的な取組			事業名	R4年度 予算額 (単位: 円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用					
		めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課												
					初期値	R4	達成率				備考											
基本目標 3)子育てファミリー世帯の守口定住を促す																						
14	1	0歳からの充実した教育・保育サービスで安心の子育て・健やかな子育てを支援する	1	4月1日時点の厚生労働省定義の待機児童数	0人 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義: 4月1日時点の保育所等 利用待機児童数調査の待機児童数 出所: こども施設課調べ	0	0	100.0%	こども施設課	1	幼児教育・保育の無償化への取組	・平成29年度から守口市が独自に実施している0歳からの幼児教育・保育の無償化については、引き続き、国の無償化対象外である0～2歳児までの課税世帯を含む完全無償化を継続し、保護者の経済面をバックアップすることで、安心の子育て・子育てを支援します。	継続	こども施設課	①施設型給付(認定こども園) ②地域型保育給付(小規模保育事業等) ③委託費(他市施設) ④認定こども園等給食費補助金 ⑤私立幼稚園等給食費補助金	①4,496,906,000 ②1,266,536,000 ③240,858,000 ④121,986,000 ⑤8,856,000	・平成29年度から本市が独自に実施している0歳からの幼児教育・保育の無償化について、国の無償化対象外である0～2歳児までの課税世帯を含む完全無償化を継続して実施した。 ・令和2年4月から本市が独自に実施している認定こども園、保育所、幼稚園等を利用する3～5歳児の給食費のうち副食費相当額の無償化について、継続して実施した。	・平成29年度から本市が独自に実施している0歳からの幼児教育・保育の無償化について、国の無償化対象外である0～2歳児までの課税世帯を含む完全無償化を継続して実施する。 ・令和2年4月から本市が独自に実施している認定こども園、保育所、幼稚園等を利用する3～5歳児の給食費のうち副食費相当額の無償化について、継続して実施する。	こども部	38	
											2	子育てと仕事の両立に向けた環境整備	・子育てしやすく、働きやすい守口を実現するため、認定こども園等での幼児教育・保育及び放課後児童健全育成事業を実施します。	継続	子育て支援政策課 こども施設課	①保育所入所措置等事業 ②認定こども園等運営助成事業(医療的ケア児保育支援事業補助金) ③認定こども園運営事業(医療的ケア児受入支援事業) ④認定こども園等運営助成事業(認定こども園整備補助金) ⑤認定こども園等運営助成事業(②、④を除く)	①9,613,000 ②14,920,000 ③14,920,000 ④817,946,000 ⑤6,883,190,000	①幼児教育・保育の実施については、就学前児童に対し必要な幼児教育・保育が提供されるよう保護者の施設利用への希望に寄り添うきめ細やかな支援を行うとともに、保育の受け皿の確保にも努めたことで、平成31年度、令和2年度、令和3年度に引き続き、令和4年度も待機児童ゼロとなった。 ②、③医療的ケア児のうち保育を必要とする児童が認定こども園等を利用できるよう受け入れ態勢を整えるため、医療的ケアに従事する看護師等を配置(民間施設については、看護師等の配置に係る費用を補助)する医療的ケア受入支援事業を実施。令和4年度については、施設での医療的ケアを必要とする児童はいなかった。 ④民間認定こども園4園が実施する園舎の老朽化対策及び保育ニーズの高い年齢児の受入れ定員の拡大を図るための施設整備にかかる費用の一部を補助を実施(2カ年事業のうち1年目)した。 ⑤上記事業に加え、特定教育・保育施設等が安定かつ充実したサービスを実施できるよう施設型給付費等の支給及び下記補助事業を実施した。 ・守口市保育対策総合支援事業費補助金 ・保育士働き盛り上げ支援事業補助金 ・保育事業補助金 ・私立認定こども園等障害児保育・看護師配置補助金 ・子ども・子育て支援交付金 等	・令和5年4月1日時点で33名(全てが1歳児)の待機児童(厚生労働省定義)が発生したことから、令和5年度中に小規模保育事業を開設し受け皿の確保を行うとともに同小規模保育事業を卒園する児童をはじめとした3歳児以降の新たな保育の受け皿の確保を行う。また、引き続き、保護者の施設利用の希望をかなえるべく、きめ細やかな利用調整・相談支援に取り組むとともに、特定教育・保育施設等が実施する取組に対し支援を実施し、受け皿の確保・保育の質の向上に努める。	こども部	39	
											3	ファミリー・サポート事業	・子育ての相互援助の仕組みであるファミリー・サポートが適切に運営されるように、引き続き依頼者(依頼会員)と協力者(協力会員)の会員数の拡大に取り組むとともに、協力会員のスキルアップを支援するための講習会を開催します。	継続	子育て世代包括支援センター	ファミリー・サポート事業	-	協力会員養成講座を年2回開催。協力会員のスキルアップ講習会を実施。会員数拡大に向け、養成講座や入会説明会の実施にあたっては、広報、HP、チラシ等での周知を行っている。	引き続き協力会員養成講座や、協力会員のスキルアップを支援するための講習会を開催し、会員の拡大、制度の充実に取り組む。	こども部	40	
											4	病児・病後児保育の実施	・病児・病後児の保育の確保を図るため、病児・病後児保育を実施する施設の更なる設置等の充実を図ります。	継続	こども施設課	子ども・子育て支援交付金 病児保育事業	25,151,000	・私立認定こども園において、病児保育を2施設、病後児保育を1施設で実施。	・病児(病後児)保育事業への保護者ニーズの増加および利便性の向上に対応するため、市内未実施の中部エリアにおいて病児保育の新規開設に向けた整備支援を行う。 ・実施エリアについて市全体のバランスを勘案しながら更なる施設の増設に努めていく。	こども部	41	
15	2	暮らしと仕事とのバランスが取りやすい環境を提供する	1	公民連携等も含めたテレワークオフィスの整備件数	5件	1件 (R2)	定義: 4月1日時点のテレワーク オフィス数 出典: 地域振興課調べ	1	1	20.0%	地域振興課	1	ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに向けた相談や情報提供	・有給休暇の取得、長時間勤務の抑制、子育てや介護と仕事との両立等、ワーク・ライフ・バランスのとれた職場を増やすため、関係機関との連携による各種の制度導入に対する助言や人生における豊かさのために必要となるワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を実施します。	継続	地域振興課	働き方改革推進事業	3,401,000	・テレワークオフィス大宮の利用者は、在宅テレワークが主流となりつつあることもあり利用者数は、伸びていない状況であった。これまで利用していない層にも利用してもらえるよう働きかけのため、開館時間や曜日の充実を図る手法を部内連携により検討し、指定管理している南部コミュニティセンターの一部としての運用に向けて調整を行った。	新型コロナウイルス感染症の流行等により、企業自体の在宅ワークの環境が整い、在宅ワークがテレワーク勤務の主流になりつつある。このことから、テレワークオフィスのニーズは減少傾向にあり、使途をビジネスに限定した運用では、利用率の向上が見込めない状況である。そのため、コミュニティセンターや市立図書館など、すでにWi-Fiが整備された環境で、ビジネスをはじめとするさまざまなニーズに対応できることを周知を徹底していく。 また、今後はビジネスに限定したテレワークオフィスとしての運用は廃止し、暮らしと仕事とのバランスが取りやすい環境づくりのあり方について再考していく必要がある。	市民生活部	42
			2	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供回数	15件	3件 (R2)	定義: 年度末時点での実施回数 出所: 地域振興課調べ	3	3	20.0%	地域振興課	2	男性の家事・育児への参画	・男女ともに暮らしと仕事とのバランスを取り、子育て世代の時間を確保するため、家事・育児を両性で担う意識啓発を行います。また、両親教室や父親を対象とした育児に関する講座を開催します。	継続	人権室 子育て世代包括支援センター	男女共同参画事業 子育て世代包括支援センター運営事業	87,000 -	・市広報誌に父親を対象とした育児についての記事を掲載した ・男女共同参画週間記念のついで2022年に、子育て等をテーマとした講座を開催した ・近隣市等開催講座の情報提供をした	・子育て世代への講座を開催 ・近隣市等開催講座の情報提供	市民生活部	43
												3	新しい生活様式の実践に向けた働きやすい環境の整備	・テレワークオフィス等の新しい生活様式に対応した働きやすい環境を提供するため、公民連携手法の導入も視野に環境の整備を行います。また、引き続き、市設置のテレワークオフィスである大宮オフィスの利用を促進します。	新規	地域振興課	働き方改革推進事業	3,401,000	・民間のテレワークオフィス運営事業者との連携により、ホームページで事業者のユーザーに対して周知を図った。	・テレワークオフィス大宮を南部コミュニティセンターの一部として運用し、コミュニティセンターの利用者への案内やホームページなどで周知を図る。	市民生活部	44
16	2	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供回数	15件	3件 (R2)	定義: 年度末時点での実施回数 出所: 地域振興課調べ	3	3	20.0%	地域振興課	3	新しい生活様式の実践に向けた働きやすい環境の整備	・テレワークオフィス等の新しい生活様式に対応した働きやすい環境を提供するため、公民連携手法の導入も視野に環境の整備を行います。また、引き続き、市設置のテレワークオフィスである大宮オフィスの利用を促進します。	新規	地域振興課	働き方改革推進事業	3,401,000	・民間のテレワークオフィス運営事業者との連携により、ホームページで事業者のユーザーに対して周知を図った。	・テレワークオフィス大宮を南部コミュニティセンターの一部として運用し、コミュニティセンターの利用者への案内やホームページなどで周知を図る。	市民生活部	45		

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

資料 1

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)									具体的な取組				R4年度 予算額 (単位: 円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用					
		めざす値(R7)		初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課											
						初期値	R4	達成率	備考														
17		1	公園の整備・再整備数	9	か所	1か所 (R1) ※第6次総計と同一指標 定義: 新設公園数、再整備公園 数 出所: 公園課調べ	1	5	55.6%		道路公園課	1	公園をより魅力的な場とする運営	・公園をより魅力的な場とするために、様々な運動や遊びを教えるスタッフによりスポーツを楽しんだり、親子がのびのびと外で体を動かすことができる機会を提供します。	継続	道路公園課	守口市大枝公園外3公園指定管理料	60,800,000	・指定管理者の事業において、プロチーム等の直接指導により、多種目をローテーション形式で体験する教室、親子で参加できる野球体験教室、サッカー教室などの開催。	・指定管理者により管理する公園の拡大。	都市整備部	46	
												2	身近な自然に親しめる機会の充実	・淀川や花博記念公園鶴見緑地等の身近で自然に親しめる場所・スポットの情報をわかりやすく発信します。また、親子が身近な自然に親しめるような機会を提供します。 ・地域住民や開発者等の協力を得て、まちなかにおける小さな緑を増やします。	継続	道路公園課	守口市大枝公園外3公園指定管理料	60,800,000	・緑・花グループによる緑・花推進活動。 ・大枝公園における市民協働の花壇づくり。 ・緑・花講習会の開催。 ・イベントでの花苗の配布。	・身近な自然に親しめる機会の充実のため、情報提供等に取り組む。 ・緑・花グループによる緑・花推進活動。	都市整備部	47	
												3	子育て親子が外出しやすい環境づくり	・子育て中の親子が外出しやすい環境づくりを進めていくために、授乳やおむつ交換ができる場所を無償提供する「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、市内でのイベント開催にあたり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを実施します。	継続	子育て世代包括支援センター	赤ちゃんの駅設置事業	-	市内でのイベント開催にあたり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを4件行った。	新規開発商業施設等へ「赤ちゃんの駅」設置を働きかけるとともに、市内でのイベント開催にあたり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを実施する。	こども部	48	
18	3	子どもとお出かけがしやすい環境を提供する	2	公園ボランティアグループ数	66	団体	61件 (R1) ※第6次総計と同一指標 定義: 公共施設等への花苗の植え付けや水やり等の活動を行っている緑・花グループと公園の草刈りやトイレ清掃等を行っているボランティアグループを合算した団体数 出所: 守口市公園課調べ	61	63	95.5%		道路公園課	4	公園の計画的な整備・改修	・市有地の有効活用や老朽化した公園を再編・集約するなどして、防災機能に加え、より魅力的なものとするために、公園周辺の地域性や公園利用者のニーズを踏まえて、子どもたちがのびのびとスポーツができる工夫や、芝生の整備や自然を感じられる工夫等により子育て世帯等が憩える場所となるように、計画的な公園の整備・改修を実施します。	新規	道路公園課	大枝公園再整備事業 よつば未来公園整備事業	1,180,728,000	大枝公園未整備部分の供用開始 よつば未来公園の開設	世木公園、菊水公園、日吉公園、旧南小学校跡地公園等のリニューアル	都市整備部	49
													5	子どもが遊べる機会の提供	・ハード面では、公園の再整備において特色ある公園整備を行い、またソフト面では、公園のみならず、コミュニティセンター等において、小中学生を対象とした魅力的な教室やイベントを開催し、その情報を積極的に発信します。	新規	生涯学習・スポーツ振興課	守口市立図書館管理事業	246,347,000	・指定管理者における小中学生を対象としたサッカー、野球、テニス、陸上、バスケボールなどのスポーツ教室の開催。 ・よつば未来公園にボール遊びができる広場設置。 ・南寺方東公園にボール遊びができる広場設置。	・指定管理者制度を活用し「小中学生を対象とした魅力的な教室やイベントの開催」に取り組む。 ・ボール遊びができる公園の整備。	都市整備部	50
																コミュニティ推進課	地区コミュニティセンター運営事業	298,876,000	・コミュニティセンターの指定・自主事業で、小中学生を対象にしたイベントを開催した。 ・コミュニティセンターのHP等で自主・指定事業の周知を行った。	・指定管理者と協議を行い、今後もコミュニティセンターで市民のニーズに応じた指定・自主事業を実施し、子どもが遊べる機会の提供の増加に努める。	市民生活部	51	
19		3	登下校時の交通事故発生件数	0	件	0件 (R1) ※第6次総計と同一指標 定義: 市内小中学生の登下校時における交通事故発生件数 出所: 学校教育課調べ(児童生徒の問題行動・被害、長期欠席の児童生徒に関する月別調査)	0	0	100.0%		保健給食課	6	安全で快適な歩行空間の整備	・景観や防災面に配慮した、災害に強いゆとりある都市環境を創出するため、都市計画道路豊秀松月線整備事業において広幅員歩道を整備します。 ・安全で快適に通行できるように、歩道の設置やカラー舗装等の路面標示により、各道路の特性に見合った歩行空間の確保に努めます。	新規	道路公園課	都市計画道路豊秀松月線	106,100,000	・無電柱化にするための電線共同溝工事を実施。	・電線共同溝工事が完了した区間の道路整備を順次実施。	都市整備部	53	
												7	安全で適切な自転車利用の推進	・歩行者と自転車の通行位置を分離し、自転車通行空間を確保します。また、自転車利用者のマナーを向上するための、警察と連携し、交通安全教室に参画するなどの取組を行うとともに、市としても安全で適切な自転車利用に関する情報を提供します。	新規	道路公園課	道路整備	11,765,000	・市道2路線に自転車通行空間を設置。 ・警察と連携し、交通安全教室を実施。	・引き続き、自転車通行空間を設置 ・警察と連携し、交通安全教室を実施	都市整備部	54	

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

資料 1

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)							具体的な取組				事業名	R4年度	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)												
		めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課	予算額 (単位: 円)																	
基本目標 4) 良いイメージをもって守口を誇りに思う子どもを増やし、育てる																												
1	変化に対応できる確かな学力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する	1	全国学力調査の質問紙調査における学習状況に係る肯定的回答率	80 %	【小学校】 67% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義: 学習状況に係る3項目 (①授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる ②自分の考えがうまく伝わるよう、話の組立てなどを工夫して発表している ③話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる)の肯定的割合の平均 出所: 文部科学省「全国学力・学習状況調査」	67	70.7	88.4%	学校教育課	1	学力向上に向けた取組	継続	市費加配教員配置事業 土曜日学習事業 中学校等放課後学習支援授業 読書活動推進支援事業	64,505,575	・自学自習力の育成にかかる目標値を設定し、各校の学力向上推進教員担当者会にて、児童生徒の家庭学習及び読書の取組み状況から成果・課題を分析しつつ、好事例の共有を行うことができた。 ・市立学校全校において民間活力を活用した土曜日学習会を開催し、学習会で行ったテスト結果や学習状況等の情報を各校と共有することにより、学習習慣の確立に向けた取組みの充実を図ることができた。 ・すべての中学校区において年間5回以上協議会を開催することができ、校区の実情に応じた学習支援について教職員にニーズ調査を実施し、ボランティア募集を行うなどの協議が行われた。また、ボランティアによる学習支援の様子や環境整備など学校支援活動の様子について広報誌や学校だよりの発行、学校HPでの発信を行った。	・ICTを活用した学習習慣や生活習慣の確立に向けた取組みについて、先進市の情報収集を行い研究を進める。 ・小学校等では教員、中学校等では市費加配教員が中心となった放課後学習、民間事業者による土曜日学習事業を継続して実施する。 ・地域の方に自分も参加できる学習支援活動があることを知ってもらうために、実際に行われている学習支援活動を学校だよりや学校ホームページ、学校運営協議会の広報紙等で発信する。また、各学校運営協議会における学習支援ボランティアの効果的な募集方法を共有するため、委員を対象とした研修会を実施する。											
1	変化に対応できる確かな学力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する	2	ICTを活用した教育の充実							2	新規	教育センター	指導者用端末整備事業 学習用インターネット通信回線追加整備に係る設定変更業務委託 家庭学習における通信環境支援	45,896,400 9,240,000 2,112,000	・学習者用のタブレット端末と同じOSであるiPadを指導者用端末として導入し、児童生徒の端末との連携による授業改善や業務の効率化を図った。学習者eポータルを活用し、CBTシステム利用や課題の配信を行うなど、教育データの利活用を進めた。 ・やむを得ず登校できない児童生徒へのオンライン授業実施に向け学校の環境整備や教職員への情報提供を行うとともに、通信環境のない家庭に対して、モバイルルータ及びSIMカードの貸出を行った。教職員がオンライン授業やWeb会議を円滑に行えるよう、マニュアル整備や操作支援を行った。学習者用デジタル教科書の活用を推進するため、実践事例共有や重点配置校の公開授業を行った。	・タブレット端末を効果的に活用した授業改善を推進するため、研修や実践事例の共有を行う。学習者eポータルの活用を進め、CBTシステム利用や課題の配信等を行う。 ・家庭学習支援及びやむを得ず登校できない児童生徒への学習保障を全教員が円滑に実施できるよう、オンライン授業実マニュアルや実践事例の共有を行う。通信環境のない家庭に対して、モバイルルータ及びSIMカードの貸出を行う。												
1	変化に対応できる確かな学力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する	3	読書に親しむ環境づくり	80 %	【中学校】 67% (R1)		67	74	92.5%	学校教育課	3	読書に親しむ環境づくり	新規	生涯学習・スポーツ振興課	子ども読書活動推進事業	263,000	・認定こども園やコミュニティセンター等で絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」を開催するなどにより、守口市立図書館を中心に本と接する喜び等、読書の楽しさに気付くきっかけをつくります。 ・子どもが読書に親しむ環境を整備するとともに学習活動における調べ学習や読書の時間等を通じて、言語活動や探究活動の場としての学校図書館の利活用をすすめるため、中学校区を単位として配置している司書について、専任司書も含めた配置の充実に努めていきます。 ・学校図書館の蔵書のデータベース化により、学校間の蔵書の相互貸出や、市立図書館の蔵書の学校への貸出が効率的にできるよう取り組みます。	・引き続き、読書習慣のきつかけづくりとなるイベント等を実施していく。										
1	変化に対応できる確かな学力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する	4	読書活動推進事業							4	新規	学校教育課	読書活動推進事業	8,400,000	・学校図書館担当教員と学校司書、図書ボランティア、図書委員会が連携し、蔵書の廃棄・購入を計画的に行うとともに、学校図書館の整備を行った。日々の授業における学校図書館の活用を推進できなかったもの、司書資格を有する人材確保を行うことができた。 ・学校図書館の蔵書データベース化に向け、関係課と連携を図った。	・各校の図書購入費を確保し、計画的に蔵書整備をおこなうとともに、学校司書と教職員が協働し、日々の授業における学校図書館の活用を推進できるような学校司書の配置の充実に努める。 ・学校間や市立図書館などの蔵書を効率的に活用できるシステムの導入に向け、関係課と連携を図る。												

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

資料 1

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)										具体的な取組			事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検案用															
		めざす値(R7)		初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課																						
						初期値	R4	達成率	備考																									
22		2	「タブレットPCを活用し、問題解決等することがとてできる」と回答した児童・生徒の割合	80	%	56% (H30)	56	83	103.8%		4	子どもを守るネットワークの確立	・発達段階に応じた工夫を取り入れて防災教育や情報モラル教育を行います。 ・子どもが、様々な危機や危険に対応する能力を育むため、訓練等を行います。 ・自然災害や犯罪等が発生した際に、迅速かつ適切に子どもの安全を確保できるよう、学校・家庭・地域や関係諸機関との連携を強化します。 ・災害や事件、いじめ等の人権侵害事象等が発生した際に、子どものケアを最優先にしたスクールカウンセラー等を早期に派遣します。また、関係諸機関と連携体制を強化します。	新規	学校教育課	学校教育推進事業 スクールソーシャルワーカー配置事業	6,216,000	・学校の危機管理体制の充実を推進するため、各校において「危機管理マニュアル」及び「防災マニュアル」の検証・改善が継続的に行われるよう指導するとともに、各地域の防災士による出前授業の実施について紹介した。専門家を招聘した情報モラルについての出前授業等は小学校及び義務教育学校前期課程では守口警察や民間企業を活用し全校で実施、中学校等では5校で実施した。また、SNSノート大阪については校長会等で発達段階に応じて系統的に活用するよう周知を図った。 ・小学校等全校において関係機関と連携した交通安全教室を実施することができた。ライオンズクラブ並びに保護司会と連携した乗物乱用防止教室を全校開催することができた。守口警察並びに枚方少年サポートセンターと連携し、小学校等5、6年生を対象に非行防止教室を全校開催した。中学校等についてはオンラインと啓発プリント配付との併用により実施した。SOSの出し方に関する教育について校長会を通じて、学期に1回の教育相談カード配布時に実施するよう指導を行った。IoT機器を活用した生徒指導にかかる意識調査を学期に1回実施した。 ・地域と連携した避難訓練の実施については令和3年度より増加(小学校6校、中学校1校)した。その実施についてもプリントで避難経路を確認するなど例年とは内容を変更して行った。訓練を実施した際には、保護者等へプリントや学校ホームページで周知した。声かけハートルールについては、小学校及び義務教育学校が中心となって年1回実施することができた。	・各校が作成している防災マニュアルにて示されている発達段階に応じた防災教育に関して、市作成の「子ども安全・安心マップ」や「防災ハザードマップ」等の周知や、各地域の防災士による出前授業の実施について継続して推進していく。 ・情報モラル教材「SNSノート」の活用状況及び各校の他の取組についても把握し、市内で共有を図り、情報モラル教育の充実に努める。 ・火災や地震、風水害、不審者侵入を想定した避難訓練を計画的に実施する。その際、授業中のみならず、休み時間や登下校時など、あらゆる場面を想定した訓練を実施する。 ・事件発生時に速やかに家庭・地域へ情報発信できるように、デジタル連絡ツールを活用する。 ・警察等の関係諸機関と定期的に会議を開催し、情報交換を密に行う。	教育部														
																					教育センター	教育相談事業	4,455,000	・やむを得ず登校できない児童生徒に対してオンライン授業を実施し、学習保障や心のケアを行った。 ・「ちらしを年3回配付し、すべての児童生徒に教育相談窓口を周知した。 ・不登校等への支援が円滑に行えるよう、スクールカウンセラー、教育専門相談員や応応指導教室が情報共有を行う等連携を図った。 ・要保護児童対策地域協議会のケースを中心に、関係諸機関との情報共有およびケース会議を実施する等組織的な連携を図った。	・人権侵害事象等の発生による緊急対応が必要な場合は、学校や府教育庁との連携し、スクールカウンセラー等を迅速に派遣する。 ・要保護児童対策地域協議会を通して、子ども家庭センターや市長部局等の関係諸機関との連携を図り、支援を要する子どもや家庭の状況の情報共有と対応を行う。	教育部								
																					5	食育の充実	新規	地域振興課			一般農政事業	270,000	・市内農家が行う野菜の朝市の周知や守口市都市農業研究会との連携を図り、学校給食へ地産野菜を供給することで地産地消を図った。	・引き続き市内農家や守口市都市農業研究会との連携による地産地消に取組んでいく。	市民生活部			
																					6	学校・家庭・地域が一体となった学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の推進	新規	学校教育課			学校運営協議会設置事業	1,340,480	・すべての中学校区において年間5回以上協議会を開催した。 ・さつぎ学園学校運営協議会で「ふるとと学」について、八雲中学校区学校運営協議会で土曜参観時に地域と連携した防災訓練について、錦中学校区で卒業生によるキャリア教育講演会について協議されるなど、少しずつ教育課程の内容について協議をする学校運営協議会が増えつつある。			・全中学校区等に設置した学校運営協議会において、引き続き、学校運営の基本方針の承認及び教育課程の充実に向けた協議を行う。	教育部	
23		1	青少年活動団体補助金交付団体数	25	団体	17件 (R1)	17	19	76.0%	コミュニティ推進課	1	青少年の活動への支援	継続	コミュニティ推進課	青少年団体活動助成事業	750,000	市のホームページやSNSに掲載し、周知を行った。また、生涯学習・スポーツ振興課に学校施設の目的外利用申請に求められた団体に、青少年関係団体補助金の周知を行った。	引き続き市のホームページやSNS等で周知を行う。また、他課とも連携し、新規の申請団体の確保に努める。	市民生活部															
																				2	産官学連携による、子どもたちが熱中できる機会の提供	新規	地域振興課	市民まつり開催補助事業	3,300,000	・守口市市民まつりの補助金を交付することにより開催を支援した。 ・友好都市との子ども交流会を実施した。	・守口市市民まつりの開催支援の継続と共に、事務局として、新たなイベント実施の提案を行う。 ・友好都市との子ども交流会を安心安全に実施する。	市民生活部						
																													企画課	-	-			R4年度については、取組なし。
																																道路公園課	守口市大枝公園外3公園指定管理料	
24		2	学校支援ボランティアの人数	2,000	人	1,612人 (R1)	1,612	1,254	62.7%	学校教育課	3	子どもが楽しめるイベント等の充実とその情報発信	新規	生涯学習・スポーツ振興課	①文化センター管理運営事業 ②市民体育館管理運営事業 ③旧西家住宅管理運営事業 ④守口市立図書館管理事業	①115,653,000 ②95,468,000 ③7,771,000 ④246,347,000	各施設において、生涯学習に関する事業(指定管理者の自主事業や市主催事業)を実施。	引き続き、市民ニーズに沿った事業を実施していく。	市民生活部															
																				コミュニティ推進課	こども会育成事業	1,842,000	・守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携し、「こども会親善スポーツ大会」、「こども会駅伝競走大会」等、子どもと地域の大人の繋がりを深めるイベントを実施してきた。	・守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携し、今後も子どもと地域の大人の繋がりを深める魅力的なイベントを実施していく。 ・HPやSNS等を用いて、イベントの情報を広く発信する。	市民生活部									

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和4年度効果検証)

基本的方向		重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組			事業名	R4年度 予算額 (単位:円)	R4年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R5及びR6以降)	担当部 ※検索用				
		めざす値(R7)		初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課											
						初期値	R4	達成率				備考										
3	子どもたちが社会の秩序を守り、社会や世界に貢献する意識を育む	1	防災ジュニアリーダー育成のために消防団等が子どもを対象とした防災教育の実施回数	1 回	未実施 (R2)	定義:年度末時点における実施回数 出所:危機管理室調べ	0	0	-	危機管理室	1	防災ジュニアリーダーの育成	・消防団等による防災ジュニアリーダーを育成し、子どもたちに防災に対する理解を深め、自らの命を自らで守る術を体得させます。また、ボランティア等を通じ、社会に貢献する意識を育みます。	新規	危機管理室	消防団運営事業	32,459,000	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消防団による子供たちへの防災教育は実施できなかったが、市が子どもがいる家庭向けの防災動画を作成し、市公式YouTubeに掲載している。	・消防団等による子どもを対象とした防災教育の実施検討	危機管理室	71	
		2	地域・社会貢献に関するアンケート項目「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」における肯定的な回答割合	66.9 %	63.8% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:全国学力・学習状況調査のアンケート項目「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」の肯定的割合の平均 出所:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	63.8	67	100.1%	学校教育課	2	防災ハザードマップ等を活用した系統的な防災教育の推進	地震や自然災害等の予期せぬ状況下においても、子どもたちが適切な行動をとり、自らの命を守りつつ、地域の方々と助け合える力を身につけるため、市防災ハザードマップやデジタル教材を活用し、発達段階に応じた防災教育に取り組んでいます。	新規	学校教育課	学校教育推進事業	-	・市防災ハザードマップ(子ども安全・安心マップ)やデジタル教材を活用した防災教育を実施した。 ・よつば小学校において、防災士による出前授業を、八雲中学校では土曜参観において、地域と連携した防災訓練を実施した。	・市防災ハザードマップ(子ども安全・安心マップ)やデジタル教材を活用した防災教育を引き続き実施する。 ・防災士等、地域や関係機関と連携した防災教育を実施していく。	教育部	72	
											3	SDGsの理解を深め、地域課題の解決等に取り組む	・SDGsの理解を深めるため、小学校等からSDGsについて学ぶ機会を提供します。 ・地域課題の解決に主体的に取り組む児童生徒を育成するため、SDGsにおいて示されている国際理解、情報、環境、福祉・健康等の現代的な諸課題を探究課題として設定した教育活動に取り組んでいます。	新規	学校教育課	人材育成事業	500,000	・人材育成基金を活用し、SDGsに関する出前授業を小学校等で実施した。 ・総合的な学習の時間等で国際理解教育や情報教育、環境教育、福祉・健康教育に取り組んだ。	・人材育成基金を活用し、SDGsに関する出前授業を小学校等で実施していく。 ・総合的な学習の時間等で国際理解教育や情報教育、環境教育、福祉・健康教育に引き続き取り組んでいく。	教育部	73	
4	子どもから若い世代までが集い、仲間づくりがしやすい環境を提供する	1	各コミュニティセンターの年間平均利用率	33 %	29.7% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:各コミュニティセンターの平均利用率(会議室・体育室等のすべて) 出所:コミュニティ推進課(各指定管理者調べ)	29.7	36.7	111.2%	コミュニティ推進課	1	コミュニティセンター等における市民活動の支援	・コミュニティセンター等に登録されているサークル等の活動を魅力的に情報発信し、若い世代が仲間づくりを行える環境を提供します。 ・青少年育成指導員連絡協議会と連携し、子どもたちが様々な活動を通じて一緒に楽しむ仲間をつくる機会を提供します。 ・市民活動の活性化に資する様々な事業を展開・実施します。	新規	コミュニティ推進課	地区コミュニティセンター運営事業 こども会育成事業	298,876,000 1,842,000	・コミュニティセンター等に登録されているサークル等の情報をコミュニティセンターのホームページや掲示板等で周知を行った。 ・市民活動の活性化のため、各コミュニティセンターが実施する自主事業等をホームページ等で周知し、様々な事業を展開・実施した。	・引き続きホームページ等で定期利用サークル等の周知を行い、仲間づくりの機会を提供する。 ・青少年育成指導員連絡協議会と連携し、小学校区単位での活動等で子どもたちの仲間づくりの機会を提供する。 ・今後も市民活動を活性化させるための、様々な事業を展開する。	市民生活部	74	
		2	各コミュニティセンターが主催するイベント数	150 回	100回 (R1)	定義:各コミュニティセンターでのイベント開催数 出所:コミュニティ推進課調べ(各指定管理者からの事業報告書より)	100	198	132.0%	コミュニティ推進課	2	若い世代の様々な活動の成果を披露する機会の提供	・市民まつり等のイベントで、若い世代が取り組んだことについて成果を発表できる機会を提供し、魅力的な情報発信や交流を行うように協力します。	新規	地域振興課	市民まつり開催補助事業	3,300,000	・守口市市民まつりの補助金を交付することにより開催を支援した。	・守口市市民まつりの補助金の交付による開催支援の継続。	市民生活部	75	
5	若い世代がより良い守口づくりに関わられる機会を提供する	1	産官学連携等の子どもたちや若い世代が守口の魅力を再発見を行い、成果を発表できるようなイベントの開催	5 件	1件 (R1)	新たな取組であるため、まずは、延べ5件のイベント開催を目標として設定。	1	2	40.0%	・市内周遊型謎解きイベント ・庁内コンサート	企画課	1	若い世代が「守口市の未来を語りあう」場づくりと活動実践の支援	・若い世代が未来に希望を抱ける魅力ある守口市にするため、若い世代が守口市の未来を語りあう機会・場を提供するとともに、守口市公募型協働事業提案制度等を活用して、若い世代による地域活性化の企画・取組を支援します。	継続	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	市内の子どもたちに守口市に興味を持ってもらい、守口市政について理解を深めてもらうため、庁内見学の機会を設けた。	引き続き、庁内見学を実施する。	企画財政部	76
											2	市民が守口市に愛着・誇りを感じる機会づくり	・市民が守口市の魅力を再発見できるように、東海道五十三次等の歴史・文化にふれられるようなまちあるきや、フォトコンテスト等の機会を充実します。 ・住民交流を深め、公園への愛着を高めるために、地域団体等が公園やコミュニティセンター等を利用して行う住民交流等のイベントの開催を支援します。	継続	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	市公式SNSを通じて、市の魅力ある写真を募集し、もりぐちフォトコンテストを開催し、市民が守口市の魅力に触れられるような機会を創出した。	引き続き、フォトコンテストやもりぐちTV、SNS等を通じて、市の魅力を発信していく。	企画財政部	77	
		2	守口市公募型協働事業提案制度の提案件数	10 件	1件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:守口市公募型協働事業提案制度において応募があった事業の数(採択数ではない) 出所:コミュニティ推進課調べ	1	2	20.0%	1件は辞退	コミュニティ推進課	3	守口市公募型協働事業提案制度の充実	・多くの市民から公募いただけるよう、要件の一部を緩和するなど、制度の更なる充実を図ります。 ・若い世代に制度を活用してもらうため、若い世代が親しみやすいSNSを積極的に利用し、周知します。 ・市内の大学等と連携し、学生にも本制度を活用し、より良い守口づくりに関わってもらえるよう取り組みます。	継続	コミュニティ推進課	市民協働推進事業	195,000	・公募開始を早めることにより募集期間を2か月から3カ月へと拡充 ・広報、LINE、Facebook等のSNS、FMIはなこを活用し、周知を行った他、各公共施設に募集要項を設置	・引き続き、募集期間を長く設定することにより募集の機会を広げます。 ・引き続きSNS等を活用し、制度の周知に努めます。 ・市内の大学等と連携し、募集要項を設置させてもらう等学生にも本制度に関わってもらえるよう取り組みます。	市民生活部	78
											4	産官学の連携による守口の魅力再発見	・産官学連携によるフィールドワーク等を実施し、守口の魅力再発見を行います。あわせて、成果を発表する場を提供し、その成果内容について、WEBや動画、アプリ等を活用して広く周知します。	新規	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	観光ガイド「ことりっぶ」について、市内外各施設やSNS等を活用して、広く周知を行った。	引き続き、ことりっぶの利用方法の方針・効果的な配布場所の拡大確保に取り組む。	企画財政部	79	